

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 26 (年2回発行)

■発行 三春まちづくり協会

■編集 三春まちづくり協会広報委員会

老人福祉部会の継続事業

「ふれあいの集い」 各字で盛大に開催

三春まちづくり協会の老人福祉部会では、昭和六十三年から、「ふれあいの集い」への助成を行っています。今年度で十四年目となりましたが、今では地域の多くの皆様のご協力により、各字で工夫をこらした集いが開かれています。今年度の各字の様子をご紹介します。

八島台

(十一月二十三日)

参加人数 一〇〇名

三十七名の実行委員会により準備をすすめ、八島台ふれあいセンターでの開催となりました。挨拶、祝辞のあと、乾杯となり、豚汁、漬け物、煮物など実行委員手作りの料理がふるまわれました。懇親会では、唄、踊り、寸劇などが繰り広げられ、全員で「ふるさと」を合唱しました。



荒町

(十月二十六日)

参加人数 九八名

アニメ「注文の多い料理店」のビデオを観賞したあと、服部巖さんによるマジックが披露されました。豚汁やお酒で話はずみ、和やかな集いとなりました。



北町

(十一月三十日)

参加人数 三九名

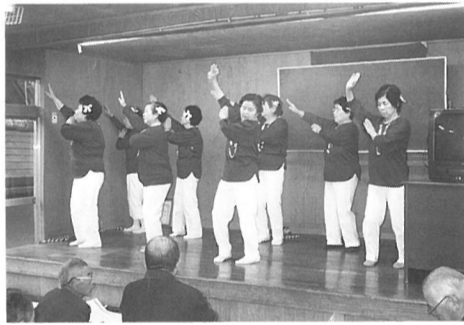
例年通り北町ことぶき会の主催で開催されました。

大町

(十一月七日)

参加人数 四四名

恒例の記念撮影のあと、橋本児童館長の「児童館ってどんなところ」という講話がありました。その後男女混合での「思い出して歌いましょう」の時間になりました。



中町

(十一月十六日)

参加人数 五五名

健康体操、舞踊、抹茶のサーブ、カラオケなどのアトラクションのあと、鳥めし、おでん、豚汁などで、楽しい食事となりました。特に鳥めしは好評だったようです。



八幡町

(十一月十八日)

参加人数 一一五名

今年度は、新築落成したばかりの八幡町公民館での開催となりました。日本舞踊、大正琴、スポーツ民謡等のアトラクションが行われ、大盛況でした。



新町

(十一月七日)

参加人数 一〇七名

郡司好男先生の指導で全員で唄を歌ったあと、婦人会によるスポーツ民謡、カラオケなどで和気あいあいの集いとなりました。



このように各字ごとに、いろいろと工夫をこらした企画で「ふれあいの集い」が開催されています。運営にあたっては、字委員、民生委員、婦人会、老

人クラブなどの皆さんの協力によるところが大きく、生まれ育った地元での集いということで皆さんが楽しんでる様子うかがえます。以前住んでいた地区から声をかけられて参加している方もあり、毎年この集いを楽しみにしているというお話も耳にしました。また、九十才の招待者の方が踊りを披露された地区もあったそうです。これまで参加できなかった方も今年の秋の「ふれあいの集い」に出かけてみてはいかがでしょうか。

どの地区でも歌の時間がありますが、どんな曲が歌われているのでしょうか。大町のプログラムから紹介します。「三春町民歌」「鳩」「かたつむり」「汽車」「紅葉」「春の小川」「茶摘み」「村祭り」「冬景色」「村の鍛冶屋」「牧場の朝」「こいのぼり」「旅愁」「富士山」「四季の歌」「あんたがたどこさ」「ずいずいづい」「ころばし」「二かけ二かけ」等々。懐かしい歌が選ばれています。

美しい川のあるまち鶴岡

まちづくり視察研修

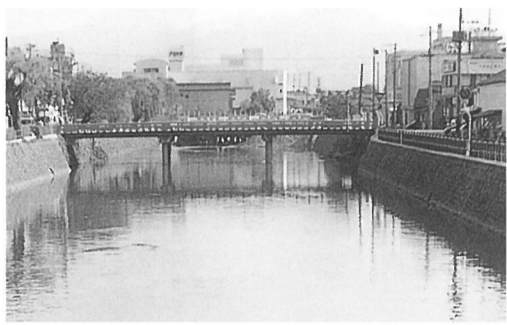
まちづくり協会の会員三十二名は「町外のまちづくり先進地の事例を研究し見識を広め、今後のまちづくり活動の一助にする」という目的のもとに十一月十二・十三日、山形県鶴岡市と酒田市へ視察研修に行きました。

鶴岡市は、庄内藩酒井家十四万石、人口十万人の城下町です。市の中心を流れる「内川」は通水能力が小さく、洪水時には、周辺市街地に多くの被害を与えました。局部的改修は行われたが洪水時の氾濫は防ぐことができませんでした。その後昭和三十六年から改修事業に着手し、流水のバイパス化を図り、さらに分水路工事を含め昭和六十年代で改修工事は完成し、市民

の不安を解消させました。二日目は、酒田市へ向かい、市が四年の歳月をかけて平成六年に完成させたという生涯学習施設の「出羽遊心館」を見学しました。和風の意匠を基調とし、天然の樹木をふんだんに使用した幾つもの部屋、九千本もの木々を植栽した広い庭の素晴らしさに感嘆の声が溢れました。



「ふるさと」の川モデル事業で整備された大泉橋下流



三雪橋
鳥海山、月山、金峯山の三山の雪を見ることができるといふ。

鶴岡の水辺空間に学ぶ

国分 義久

川底の石垣ゴロ(穴)をまさぐったとたん、川蟹に手を挟まれて奇声を上げる子と岸の河戸で囁き合っている子供達。夕暮れ時になると城下町の風情のある橋や花壇、川面に映る灯の光が目を惹きつける。涼しい風が満酒な東屋のある小公園とそれに連なる遊歩道をすり抜ける。その涼しさを求めて散策を楽しむ親子連れ。こんな水辺の風景は夢物語りの中……ではなくこれを実現した山形市鶴岡市を今回の研修地に選

部会だより

生活部会

九月二十二日、町内に二十ヶ所ある「ニコニコ道路表示板」の清掃を部会員で行いました。新築の八幡町公民館と荒町の二カ所に掲示板を設置しました。



土地利用部会

地域の価値発見を活動のテーマとし、町内の歴史的・人の営みの価値の掘り起こし活動に努めています。二月十六日は、田村大元神社本殿・大林文庫・ひなたぶんど。山中の愛染塔・貝山の道陸神・三春農民塾蔵書などを研修しました。



環境部会

環境美化のためのゴミ集積所設置への助成事業として、八幡町・荒町・八島台の三カ所に助成しました。花いっぱい運動として大町を中心にプランター二十個を配置しました。



街並部会

馬場と雁木田の二カ所に町名石柱を設置します。歴史民俗資料館学芸員の藤井康さんを講師に伊達政宗と愛姫についての勉強会を開きました。



平成十三年度 まちづくり懇談会



十一月二十八日(大林ホール)・二十九日(八島台集会所)の二日間にわたって開催されました。次のような質問があり、町の担当者からそれぞれ回答がありました。

- 中町生きがいセンター跡の活用について、地元住民に対して説明が不十分だ。
- 積雪時、町は早急に除雪してほしい。何センチ積もれば除雪してくれるのか。
- 町村合併のメリットと進行状況について知りたい。
- 三春の里田園生活館の、補正予算三億円の借入保証と経営状況について聞きたい。
- 三春町の行政改革で課や係を廃止したことについて。
- 八島台の街区標識事業について、原案を作成し要請したがどうなっているのか。
- 八島台の民生委員の適正配置について。
- 八島台集会所の東側通路の舗装について。

編集後記

◆ 年二回目の「三春わが街」をお届け致します。昨年は暗いニュースばかりでしたが、愛子様御誕生で日本中が祝福で湧きました。ひきつづき今年も平和な佳き事があるようにと祈りたい。中心地内に町民センターと壺番館が完成を目指して進行している。町を歩く人々も期待と夢をふくらませていくように感じる此の頃です。(永山栄子)

◆ 山形県鶴岡市への視察研修に私も参加しました。川岸は石積み、桜の木も植えられ、新たに彫刻した橋が架けられ城下町にふさわしい佇まいで素晴らしいものでした。研修で知った良いところを桜川改修に反映させ、洪水に悩む町民を一日も早く安心させるべきだとお思います。(佐藤忠男)

コミュニティだより
「三春わが街」第二十六号
発行日 平成十四年三月一日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広報委員会
三春町字大町一七八
(六二) 三九八八